



市・史跡

つばのじょうあと

坪野城跡

魚津市坪野（個人）

坪野城跡は旧坪野鉦泉裏山の山頂部（標高460m）に築かれており、位置的に松倉城を取り囲む支城群の一つと考えられる。当時、松倉から片貝谷に通じる山街道があり、この押さえとすることも築城の目的の一つであったと思われる。

山頂部には約40m四方の平坦部が設けられ、その両側に1段低い削平地がみられる。山頂から三方へ伸びる尾根上に、それぞれ堀切が2～3カ所設けられ、山頂への通路を遮断している。

坪野城は史料にはその名が登場しないが、江戸時代の文献によれば、椎名氏又は上杉氏の家臣が在城したとも伝えられている。坪野城の周辺には、上杉謙信に関する伝説が多くみられる。例えば、謙信が松倉城を攻めたときの馬の蹄石^{ひづめいし}、松倉城を遥かに望んで謙信が笠をぬいだという笠取山、馬揃えをしたという百間馬場、あるいは馬の訓練を行ったという馬の牧などがある。